



愛協だより vol.49

高橋 功成 常務理事 挨拶

この度は、改築・新築により令和4年4月1日より新しい施設で運営を始めた長生園・長生園指定訪問介護事業所について紹介します。

長生園グループでは、近年大きくふたつのことに力を入れています。ひとつは「チームアプローチの強化」、もう一つは「ICT（情報通信技術）活用による生産性向上」についてです。そして、このふたつの取り組みはいずれも、「利用者さん・職員のために」という目的があります。

「チームアプローチの強化」では、部署を超えた「多職種連携・協働」を実践し、「ICT活用による生産性向上」では、各種ICT機器を活用し、利用者さんの安全の確保や生活の記録、そして多職種連携に必要な情報共有などの実践をしています。

これらの取り組みにより、各職員やチームが実践したことが簡単に記録され、利用者さんの生活に役立ち、利用者さんの安全確保や事故が起きた時の再発防止に役立っています。また、職員の生産性が向上することによって利用者さんへの直接支援が増えQOLの向上にも役立っています。

今後も、各種会議・委員会でのチームアプローチやサービス生産性向上委員会の業務改善を推し進め、利用者さんが住みやすく、職員がより働きやすい施設づくりをみんなで実現していきたいと思っています。

【養護老人ホーム長生園】ってどんなところ？

利用者数

合計 **119** 名 令和7年4月1日 現在
措置 / 75名 特定 / 44名



養護老人ホーム長生園は昭和2年10月、北海道で4番目の老人福祉施設として設立されました。環境上・経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方が入所しており、利用者さんの心身の状況および環境・その他自立した日常生活を営むために必要な支援を提供します。

武佐の地での運営がはじまり早くも3年が経過しました。武佐町内会をはじめとする地域の方々との交流を大切にしながら、利用者さんがより生き生きとした生活をおくれるよう日々支援する職員の皆さんを紹介いたします。ぜひ最後までご覧ください♪

養護課
支援係

K.K 支援係長 〈介護福祉士〉



利用者さんとの距離が1番近いのが私たち支援員なので、いち早く利用者さんの体調や行動の変化に気付けるよう心がけています。様々な利用者さんがおりますのでコミュニケーションや信頼関係を築くことが課題でもあります。状況に応じた適切なアプローチが見付けられた時にはやりがいを感じます。

ICT活用により記録・報告書作成など職員の負担が軽減された事や利用者さんの健康状態・日頃の状況も把握しやすくなり、より利用者さん1人ひとりに関わる事が可能になりました。

今の園舎ではスタッフルームのすぐ前に食堂があるので、職員も以前より見守りがしやすく、利用者さんも『ここに来れば職員がいる』と思ってくれるので、身近に感じてもらえていると思っています。

養護課
介護係N.T 介護係長 〈介護福祉士
介護支援専門員〉

他部署の職員とも円滑に連携をとれるよう日頃のコミュニケーションを心がけています。利用者さんはもちろん、一緒に働く職員にも困った時には話してもらえよう信頼関係を作りつつ、親密になり過ぎないような距離感を保つ所に難しさを感じる事がありますが、利用者さんの小さな変化に気付くことができた時にはやりがいを感じます。

業務に入る前にLINEworksやケアカルテの申し送りで情報共有したり眠りSCANeyeにより事故発生時の録画映像で事故に至った経緯を確認でき、事故対策委員会で事故分析や改善策の検討がしやすくなりました。

また旧長生園でもADLに合わせた居室割はしていましたが、お互いの身体や精神状況を理解し合う事が難しい為トラブルに繋がるケースが多かったように思います。現在の園舎では自立されている方は1階、お手伝いが必要な方は2階に分かれて生活することで、利用者さん同士のトラブルが減っているように感じますし、率先してお掃除や行事等のお手伝いをしてくださるようになり、とても助かっています。

ICT
推進担当者

S.K 介護員 〈介護福祉士〉

ICT活用を現場で定着させて使えるものにすることが自分の役割だと思っています。ICTの活用により情報共有・記録し易くなったことで、利用者さんへよりきめ細かで最適な支援が可能になりました。

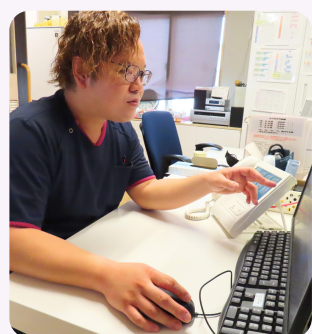
便利になった分、職員間のコミュニケーションが減ることのないよう、顔を合わせて話をする時間を作るよう意識しています。利用者さんへ適切な支援をするには介護職だけでは完結しません。小さな気付きでも各職種間で共有することを心がけ、アナログとデジタルの良いところをバランス良く取り入れていきたいです。

利用者さんの『したい』に沿って支援した結果、喜んでもらえると嬉しく思います。これから“～してあげる”ではなく、“～したい”という利用者さんの気持ちを尊重し、利用者さん主体のケアを意識して取り組んでいきます。

【ICT】とは？

介護現場におけるICT機器とは、サービスの質向上と業務の効率化を図るための機器の総称。

長生園では、見守りセンサー〈眠りSCAN・眠りSCANeye〉、介護記録ソフト〈ケアカルテ〉、ナースコール〈Vi-nurse (ビーナース)〉、また電話取次をより円滑に行う〈KDDIビジネスコールダイレクト〉、職員間での連絡ツールとして〈LINEworks〉を導入・活用している。



【生活相談係】はどんなことを行う部署？

個別の相談を受け付け、利用者さんとそのご家族が安心して生活をおくれるよう個人に寄り添った支援を行っています。
また、必要に応じて他の専門機関との連携を図り、利用者さんが必要な支援を受けられるよう調整を行うこともあります。

養護課
生活相談係



H.I. 主任 〈社会福祉士 介護支援専門員〉

福祉における多職種連携の重要性は、利用者さん1人ひとりのニーズに対し包括的で個別化された支援を提供することにあります。それぞれの専門知識やスキルを活かし各部署が1つのチームとして支援にあたることで、1つの職種では見落としがちな問題を防ぎ、チーム全体の知識と経験を共有することによって、より効果的な支援に繋がります。利用者さんが安心して過ごせる環境を整えるためには、職員間のコミュニケーションが欠かせません。

多様なニーズを持つ利用者さん1人ひとりに対し適切なケアを提供するためには柔軟で迅速な対応が求められますが、利用者さんの笑顔や生活の質の向上が見られた時は、チーム全体の成長も感じられ、やりがいに繋がります。



T.S. 相談員 〈社会福祉士 介護支援専門員〉

利用者さんに解決すべき課題が見つかった際には多職種での情報共有から始め、担当者会議等で意見交換をしながら支援方針を定めます。利用者さんのことを思うと、時には利用者さんの希望通りにならないこともあります。支援方針を押し付けてしまう形になると関係性にも亀裂が入ってしまう事もあるので、そこで難しさを感じる時もあります。ですが、利用者さんと同じ方向を向けた時や、努力している姿・出来ないことが出来るようになった時には喜びややりがいを感じます。

利用者さんが最期に人生を振り返ったとき『長生園に來られて幸せだった』と思ってもらいたいです。利用者さんとの関係性を大切にしながら、それぞれの職種の大変さも理解し感謝の気持ちを持ち続けることが大切だと思います。

医務課

M.I. 医務課長 〈看護師〉



医務課では、巡回時に直接利用者さんの様子を見ることが体調管理を行っている他、多職種の方々と情報交換・共有をしながら利用者さんへ統一した支援を行うよう努めています。

ICTの導入に伴い電話やパソコンでのやり取りが多くなった事で、人と人とのコミュニケーションが減ったように感じる事もありますが、様々な業務の円滑化が進んだことで従来よりも利用者さんへのサービスの質向上に繋がっていることは良かったと感じます。

高齢者は日々体調が変化しやすいので、重症化しないうちに受診や入院に繋がれた時はやりがいを感じますし、また、当たり前の業務でありながら『ありがとう』と言ってもらえた時に嬉しく思います。

これからも〈常に利用者さんファースト〉を大切に、日々の支援にあたっていきたいと思っています。

給食課

M.I. 栄養士



主に食数表の管理・献立表作成・体重管理・栄養指導（栄養教室・ポスター作成）などを行っています。

担当者会議などを通じた各課との情報共有により、嚥下状態に合わせて食事形態を変更するなど、利用者さん1人ひとりに寄り添った食事提供ができるよう努めています。

ケアカルテの活用で利用者さんの生活記録が確認できたり、食事が摂れていない方の情報、主食・副菜の摂取状況などが確認できることや、検査者がLINEworksを通して、食事の際に気を付けて欲しい部分の発信をすることで、誤嚥などの事故を未然に防ぐことが出来るので、とても重要なツールだと感じています。

利用者さんと積極的にコミュニケーションをとり、食事についての感想や意見を直接聞くことで献立改善等にも繋がるため、これからも『利用者さんの声』を大切にしていきたいと思っています。

Y.S. 訪問介護員 〈介護福祉士〉

M.S. 訪問介護員 〈介護福祉士〉

長生園指定
訪問介護
事業所

訪問介護事業所では、利用者さんの整容・排泄・口腔ケア・食堂への誘導・食事前の水分補給・食事中の見守りなど、主に身体介護を行っています。高齢者は日々身体的変化があるため、その変化にいち早く気が付くことが大切です。

移設当初は、これまで携わっていた利用者さんがほとんど武佐の里へ移ったため初めて関わる利用者さんが多く大変なこともありましたが、ここには様々な職種 みんなが身近にいて、何かあった時にはすぐに相談・状況説明が出来たり、現場を見てもらえる・すぐに解決できる心強さがあります。

LINEworksを使用することで職員間の情報共有が早く確実に伝わるようになり、またケアカルテは現場で記録したものがすぐに更新されるため離れている場所からでも確認できるなど、記録にかかる時間が大幅に短縮されたことも業務の効率化を図れる大きな要因となっています。

今後も事故のないよう、そして利用者さんへ優しく寄り添う気持ちを大切に、みんなで取り組んでいきたいと思っています。



R.U. 総務係長

総務課



長生園の利用者さんは様々な事情で入所しているので、電話取次や来客対応は各課と確認し合いながら慎重に行っています。

また、個人情報も多く取り扱っているため、その取扱には十分に気を付け、皆さんに安心して任せていただけるよう、職員間の信頼関係を大切に誠実な対応を心がけています。

ICT導入により、外線を直接個人が所有する端末へ繋がれるようになった事で、電話取次がよりスムーズになったことがとても良かったです。

施設運営においてしっかりと予算管理をする必要があるため時には要望に添えないこともありますが、各課の方々にはいつも協力していただき感謝しています。

総務課は1番最初に関わる窓口となる部署ですので、丁寧な対応をこれからも心がけていきたいと思っています。

公式SNS はじめました



ホームページ



X



YouTube



Instagram

掲載希望の場合は
本部 広報
まで♪

最後に...

先代の園長は「みんな仲良く」といつも話していました。

現在の高橋 功成園長は「仲間を大切に」と日頃から職員に話しています。私はその言葉が大好きで、いつも思い出するようにしています。長生園の職員は誰もがその言葉を大切に想い、業務にあたっていることが伝わって来る、そんな長生園です。 〈記：長生園 副園長 S.Y〉